

地方公共団体情報システム機構代表者会議会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

令和5年11月14日(火)11時00分～12時00分

(2) 場所

Web開催

2 出席委員の氏名

(1) 出席委員

委員	石川	昭政
〃	馬場	成志
〃	平井	伸治
〃	上原	哲太郎
〃	清原	慶子
〃	穴戸	常寿

(2) 地方公共団体情報システム機構定款第10条第3項の規定に基づき 書面をもって表決した委員

委員	楠	正憲
〃	池田	宜永
〃	吉田	隆行

3 議事の要領

別紙のとおり

4 議決した事項及び賛否の数

(1) 令和5年度11月補正予算(案)

賛否の数：全員賛成

以上

地方公共団体情報システム機構
代表者会議議長 平井 伸治

(別紙) 議事の要領

1 開会

理事長 9月末にマイナポイント第2弾の申し込み期限が終了し、この間マイナンバーカードの普及が大きく進み、11月1日時点の申請数は、人口比78%の約9,855万人に達したところです。今後は国において、健康保険証だけでなく、運転免許証や在留カード等との一体化、海外での継続利用の開始など、マイナンバーカードの利便性・機能の向上に係る取組が進められるものと承知しております。機構におきましても、これらの取組に確実に対応し、安定的なシステムの稼働を通じてマイナンバーカードの利用シーンの拡充を支えてまいります。

また、マイナンバー制度全体に対する信頼向上のため、引き続きマイナンバー総点検に関する対応など、国・地方の取組と一体となって、機構における点検関連業務を着実に実施してまいります。

本日の議題については、次期 LGWAN の構築につきまして、自治体の皆様方から早期のガバメントクラウドへの接続要望を受けたところであり、当機構としましても、できる限り構築の前倒しを行うこととし、令和6年10月頃の運用開始に向けて、検討・調整を進めてまいりました。

なお、ガバメントクラウド接続への対応等により、構築費用の増加が見込まれますが、これにより、地方公共団体の負担金に影響が生じることがないように、国に対して、財政支援をお願いしてきたところです。

本日は、こうした内容を踏まえまして、令和5年11月補正予算案についてお諮りさせていただきます。

2 議決事項

(1) 令和5年度11月補正予算(案)

委員 次期 LGWAN については、ガバメントクラウドへのアクセス回線として利用したいという自治体からの要望が根強いものと承知しており、自治体の基幹業務システムをガバメントクラウドにリフトするに当たって、自治体によっては個別に回線を調達することが困難であることも考えられる。その意味で LGWAN が果たす役割は非常に大きいと考えている。

令和7年度末の期限に向けた円滑な移行のためにも、今回の前倒し対応を含めた着実な取組をぜひ引き続きお願いしたい。

委員 次期 LGWAN への更改に当たっては、ガバメントクラウドへの接続の仕組みの構築や運用開始時期の前倒しを行うこととされている。

総務省としては、これらに要する経費について、都道府県の負担金が増額にならないよう国費措置の予算要求を行ってきた。先日、閣議決定された令和5年度補正予算案には国費措置 25.3 億円が盛り込まれたところである。

委員 自治体の現場からの前倒しの要望があり、ガバメントクラウドへの移行が想定より困難な作業になっていることもあって、助走期間を十分にとるということから前倒しは望ましいものだと理解している。

委員 本件は、今年の6月9日に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定されたこともあり、それに沿ったものだが、各自治体の標準準拠システムへの移行作業の前倒し、必要な支援の実施が示されたことにより、移行を進める自治体から早期のガバメントクラウドの接続を要望されていることへの対応である。まさに自治体への適切な支援を行うということであり、自治体の視点に立って、有意義だと考える。

経費については今年度の自治体負担が増加することを心配していたが、国と J-LIS が緊密な連携を行い、国の補正予算案に組み込まれたということで安堵した。

経営審議委員会の意見書にもあるように、次期 LGWAN 構築の前倒しについて、新旧システムが並行して稼働する期間についての安定稼働と自治体への適切な支援をお願いする。

また、本件に係る入札等については、公正に実施するとともに、民間との連携によるシステム構築については最大限の適切性・安全性を確保し、クラウド化についても丁寧に着実な取組を引き続きお願いする。

委員　今回の第5次 LGWAN の構築は、これまでの積立金を取り崩すという形で実施するが、今後、第6次 LGWAN の構築に向けて、また J-LIS が積立金を積み立て、自治体が負担していくことになるかと認識している。今回、既存の積立金だけでは足りなくなったのは、新たなネットワークに求められる要素が変わったためであり、これは非常に合理的なことで、国からの財政支援が得られたのは大変良かったと考える。

今回の経緯を踏まえ、第6次 LGWAN をどのように構築するか、どれぐらいの積立金が必要かということ、中長期のこととして J-LIS で考え、計画を立てていく必要がある。その際、過大とならないように、第5次 LGWAN の積算費用から、第6次 LGWAN で求められる機能や必要な費用、積立金の額について、透明性の高い形で合理的な計画を立てて、代表者会議等に説明できるよう、今から準備を始めていただきたい。

議長　ガバメントクラウドへの移行については、それぞれの市町村でシステム改正の疎密やスケジュールが異なっており、期限どおり物事が進むかは微妙な状況ではないか。自治体では基幹システムと連動して様々なシステムが動いており、これらを合わせて全体として措置する必要がある。このような点について今後、J-LIS や各省庁においても御留意いただきたい。

また、次期 LGWAN の構築において、新旧システムが並行稼働することについては、安定稼働ができるよう、J-LIS において、慎重かつ適切に対処していただきたい。

併せて、現場の状況を十分踏まえて、LGWAN の今後の積立金や資金計画を検討するよう、十分留意して欲しい。

議長　議案第1号について、原案のとおりでよろしいか。

(異議なし)

議長　議案第1号について、原案のとおり決定する。

3 閉会

議長　本日、予定していた議事は全て終了した。
以上で、第50回代表者会議を閉会する。

以上